

## レンタルキャンピングカー 「アトム」 設備等の使用方法 予備知識

### 1. 運転について

普通車より少し車体は幅広で、高さは3m20cmありますので、学校・ホテルなどの玄関アーケード又は歓迎アーチ・バルコニーなどにぶつかる危険性があります、また道路沿いにある立ち木・看板・ミラーなどにもぶつかる可能性がありますので、高さには特に注意してください。(過去2年間で屋根を損傷した事故は2回ほどあります。)

#### (運転前の始業点検について)

貸し渡し日は、当店にて始業点検してレンタル致しますが、2日目以降は毎日お客様が、始業点検しなければなりません。次の点は、当店にて点検し補充していますので、お客様は点検しなくてもOKです。

エンジンオイル補充・ウインドウウォッシャー液補充・バッテリー液補充・エンジン冷却液(クーラント)補充・エンジンベルト等の点検と交換

#### (レンタル開始時のキャンピングの装備と準備作業についての説明)

レンタル開始前には、当店においてすべての点検と補充を済ませてお客様にレンタル致しますのでご安心ください。

#### (1) エンジンスタートについて

この車は、ジーゼルエンジンですので、グロー(予熱)してエンジンをかけるシステムになっています。スタータースイッチ(エンジンスイッチ)をonにするとこの予熱表示灯(コイル線表示)が点灯し、完了すると同時に消灯しますので、この消灯を合図にエンジンを始動してください。

#### (2) ハンドルの位置調節

快適運転のために、ハンドルの位置を上下に移動できます。(停車中に調整のこと。)

#### (3) バック(後進)の注意

バックアイカメラ(モニター)が装備されていますが、このカメラにのみ頼らずに、事前に自分の目で後方確認をしてから、左右のサイドミラーも見ながらバック(後進)することがより安全です。補助者の誘導でのバック(後進)はより安全です。

#### ワンポイントアドバイス

駐車場等に駐停車する時は、出る時の事を考えて駐停車の場所を決めるのが賢明です。(前進で入って駐停車して、前進で出られる場所が見つかれば理想的な場所です。)

※バック(後進)は、出来るだけしない運転が安全運転になります。

#### (4) 走行時のスピード

スピードは、出そうと思えばそれなりに出ますが、急な凸凹があると車体が大きく揺れたり、ジャンプしたりして、車内の食器等の荷物が落ちたりしますので、あくまでも、ゆっくりドライブが適しています。

車間距離を充分とって走行すること、ゆっくり運転がキャンピングカーには適しています。

- ・ オーバーヒートについての注意点(ワンポイントアドバイス)

長い上り坂が続くとキャンピングカーは重量が2,480kg以上有るためにオーバーヒートする場合があります。高原の露天風呂・摩周湖への長い上り坂等は特にエンジンが過熱してオーバーヒートになりがちです。

##### ワンポイントアドバイス

(※一般車とちがってキャンピングカーは重量があるので、特に上り坂ではスピードが落ちます。このときアクセルを踏み込み過ぎるとオーバーヒートするものです。一般車とちがいで、(※上り坂ではスロー走行を守ればオーバーヒートしません。)

登り坂が続く時はエンジン温度に注意し、オーバーヒートして温度が上昇した時は、アイドリング状態(エンジンをかけたまま)で車を停車して温度が下がるのをしばらくお待ち下さい。しばらくすると、冷却液が循環されて温度が下がります。

また、峠に到着後は、しばらくアイドリング状態でエンジン温度が下がるまでエンジンを切らないで下さい。

#### (5) オーバードライブ (ON・OFF) の操作について

通常運転では、ONで使用してください。

坂道の下りではOFFして軽いエンジンブレーキとして使用してください。(長い下り道ではフットブレーキを長く使用しつづけると過熱して性能が落ちることがありますので、ぜひこれを使用してください。)

※このオーバードライブは、チェンジレバーが「Dの位置」でのみ働きます。(詳しくは、車の取り扱い説明書をご覧ください。)

## 2. 車のドアの施錠について

- (1) 運転席側を施錠すると助手席側も同時に施錠されます。(運転席側で開錠すると助手席側も同時に開錠されます。しかし助手席側では同時施錠はできません。)
- (2) リアドアは、右へ回すと開錠、左へ回すと施錠できます。

※開錠した時にはキーを縦に真っ直ぐの状態にもどしてから抜いてください。

(※鍵穴が、この縦に真っ直ぐの位置になっていないと、内側から手動ノブで施錠することができませんので、ご注意ください。)

### (3) トイレ・シャワーについて

この車（アトム）に、トイレ・シャワーの設備は有りません。

### (4) 水タンクの補給などについて （※冬期間は使用できません。）

20リッターのタンクに満杯に給水して貸し渡しいたしますが、途中不足となったときは、各利用者で給水していただくこととなります。給水の仕方については、当日説明いたします。（車内での、ガス使用でのお湯・水の使用方法は、当日説明します。）

### (5) 冷蔵庫の使い方

- ・この冷蔵庫は、DC12V（サブバッテリー使用）の方法で使用できます。
- ・冷蔵庫正面の右部分の操作ダイヤルで操作します。

※長時間の使用は、サブバッテリーを消耗しますので、ご注意ください。

### (6) リヤヒーター(ベバストヒーター)の使い方

- ・このヒーターは軽油を使用する温風暖房機です。停車中・走行中にかかわらず使用できます。
- ・車室内の空気を全く汚すことなく安全で快適に使用することができます。
- ・スイッチとルームサーモにより室内をいつもお好みの温度に保つことができます。
- ・このヒーターは操作が簡単ですので、お気軽にお使いください。

使用燃料について

燃料は必ず軽油をご使用ください。（ガソリン、灯油、A重油又はそれらの混合油は絶対に使用しないで下さい。

注意 燃料の中に燃料凍結防止剤を混入することは絶対にやめてください。

ヒーターの燃料として軽油を使用しますので、特に平地から山間地域又は温暖地域から寒冷地域へ出かけるときなどには軽油のグレードを確認してください。例えば外気温0度以下の地域で通常の軽油を使用しますと燃料が完全に凍結する前にパラフィンが析出し、これがフィルターに詰まって燃焼不良を引き起こします。この現象はヒーターの様な燃料消費の少ない機器には特に早期に発生します。メインエンジンの様に燃料消費の多いものは比較的発生が遅くなります。（同じ燃料を使用していても、メインエンジンがかかってもヒーターが作動しないことがあります。）

参考 ヒーターの燃料(軽油)の適正使用について JIS K 2204

気温/燃料	2号	3号	特3号
0℃まで	○	○	○
-5℃まで	○	○	○
-15℃まで	×	○	○
-25℃まで	×	×	○

※ 市場での燃料は、品質的にバラつきがある場合がありますのでご注意ください。  
**危険** 燃料タンクに給油する場合には、ヒーターの運転は必ず停止してください。

(※冬期間は、凍結防止の為、給水タンク・排水タンクは使用できません。)

(7) インバーター(DC12→AC100)を装備していますので、エンジン駆動時に200wまでの100v電源が使用できます。(携帯電話の充電にお使いください。)

(8) 最後に「キャンピングカーを運転する時の注意点」を記しておきます。

### ① 走行前の確認を念入りに

・キャンピングカーは装備が多いため、通常の始業点検に加え、次の事項も確認してください。

※外部右側の100ボルト差込プラグを抜いてコードを収納したか。

※各収納庫を収納しロックしたか。

※荷物は確実に固定したか。(※走行中荷物の落下にご注意ください。)

※サイドオーニングは、収納したか。

※ドアはロックしたか。

② キャンピングカーは、一般乗用車に比べて重心が高いため、走行中のローリング(横揺れ)や、ピッチング(縦揺れ)が大きくなります。また、車体表面積が大きく、横風の影響を受けやすいので、高速走行時などは特に注意し、安全運転を心がけてください。

### ③ ボディー後部の接触に注意

・この車は、一般乗用車とくらべて、リヤオーバーハング(後車輪から最後部までの寸法)が長くなっています。このため、段差のある場所や、急角度ハンドルでの運転時には充分注意してください。(

以上、初めてキャンピングカーを利用する方への予備知識として、取り扱い説明書の抜粋で作成してみました。参考になれば幸いです、また、説明不足な点、疑問点などありましたら、問い合わせくださいませ、ご利用をお待ちしております。

2016. 10. 10 作成

レンタルキャンピングカー・オアシスポイント:代表 武田 康行